

「こどもひろば」に 参加してみませんか！



「こどもひろば」を定期的に市内で開催しています！

市では、市と市民の皆さんが協働し、子どもの外遊びを通して『人と人、人と地域がつながる場、みんなで子どもを育て、自らも育つ場』として、「こどもひろば」を開催しています。

毎回、子どもと大人が一緒になってアイデアを出し合い、さまざまな遊びを楽しんでいます。会場では、子どもたちの歓声や笑い声が絶えません。

市内の企業からボランティアで参加した人からは「楽しい時間を過ごすことができた。すがすがしい気分」との感想も。

外遊びを通じて、子どもも大人も楽しめる場です。ぜひ皆さんでご参加ください！

健康づくり推進課 ☎0869-24-8033



邑久スポーツ公園冒険の森で開催された「こどもひろば」



家ではできない遊びを
みんなで楽しめる！

いっぱい遊んで、
いっぱい笑おう！！

芝生がふかふか！
転んでも痛くないよ～

はだしで思いっきり
走るのが楽しい！！



11月・12月の「こどもひろば」

稲刈り後の田んぼで、凧を飛ばしたりボールを使って遊んだりして、外遊びを楽しみましょう（就学前のお子さん向けです）。

▷日時 11月13日（水）午前10～11時

▷場所 邑久保育園前の田んぼ

▷参加費 無料

※申し込みは不要です。雨天の場合は、邑久子育て支援センターで行います。

木のブランコや綱渡り、木や落ち葉で作った秘密基地など、森にあるものを生かして遊びましょう。

▷日時 12月7日（土）午前10時～午後2時

▷場所 邑久スポーツ公園冒険の森

▷参加費 無料

※申し込みは不要です。
※小雨決行です。

鳥獣被害にご注意ください！



近年、全国的に問題となっているシカ・イノシシなどの野生動物による農作物被害。市内においても被害が多発しており、対応に困っているとの声が寄せられています。そこで、ここでは鳥獣被害を減少させるための正しい対策方法をご紹介します。

農林水産課 ☎0869-24-7221

獣害対策のポイントは

①寄せない、②入れない、③捕まえるの3点を総合的に行うことです！

①寄せない

田畑近くの茂みは、野生鳥獣の格好の潜み場となります。

また、キャベツの外葉、間引いた作物などの廃棄物、湧いた虫、柿や栗などの放任果樹も野生鳥獣を引き寄せる餌となります。

農地周辺や山際のやぶの刈り払い、廃棄物・放任果樹の除去など、地域ぐるみで田畑や家周辺の環境を改善し、野生鳥獣を近づけない集落づくりを行いましょう。



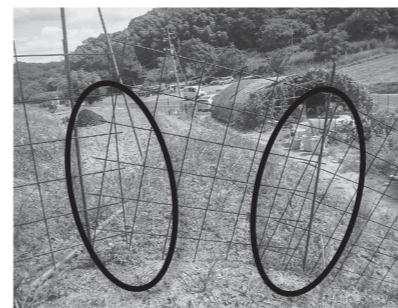
廃棄物の放置はNG！

②入れない

野生鳥獣は、一度農作物の味を覚えてしまうと、繰り返し侵入を図ろうとします。侵入を防ぐには防護柵の設置が有効ですが、設置にあたっては野生鳥獣に「侵入できる」と思わせないことが重要です。

【ポイント】

- ①隙間を作らない、低い柵を設置して乗り越えさせない
- ②電気柵は24時間通電する（「電気柵は痛くない」と学習させない）
- ③こまめに柵の点検と補修をする



柵を重ねて設置して隙間ゼロ！

③捕まえる

鳥獣保護管理法では、狩猟により捕獲する場合を除いて、原則として野生鳥獣の捕獲・殺傷が禁止されています。しかし、柵で防護したり、追い払いを行ってもなお、生態系や農林水産業に被害が生じる場合などには、捕獲（有害駆除）を特別に許可することが認められています。

市では、猟友会有害鳥獣駆除班と連携して有害駆除を実施しており、要請があれば現地調査を行い、対策について検討します。

しかし、農地が無防備なままでは、やみくもに有害駆除を実施しても被害は減少しません。効果的かつ効率的に捕獲するためには、「寄せない」「入れない」対策を行うことが大前提です。



まずは「寄せない」「入れない」対策を！

被害を防ぐために、地域みんなで協力しましょう！

鳥獣被害を減少させるためには、個別の対策はもちろん、地域で協力して対策を進めることも重要です。農林水産課では、防護柵の設置費用に対する補助金を整備し、「入れない」対策への支援を行っています（購入前に申請が必要です）。また、獣害対策セミナーを開催し、鳥獣の生態や総合的な対策方法について研修を行っています。日程などは後日お知らせしますので、ぜひご参加ください。

